

資料No.2

令和5年度森林づくり県民税活用事業の概要について

令和5年度 林務部 施策体系

政策の柱	大項目	事業名
1 持続可能で安定した暮らしを守る	地球環境を保全する	木質バイオマス循環利用普及促進事業 新 譲 林地残材有効活用推進支援事業 森 あたりまえに木のある暮らし推進事業 森 信州の森林づくり事業（公共・県単） 新 森 ・人工造林・初期保育の嵩上げ 森 ・防災・減災のための里山整備 森 地球温暖化防止吸収源対策推進事業 譲 森林経営管理体制支援事業 野生鳥獣総合管理対策事業 ICTを活用したシカ広域捕獲推進事業 新 ・広域捕獲活動支援事業 ・シカによる森林被害緊急対策事業 ・奥地等シカ捕獲推進事業
	災害に強い県づくりを推進する	治山事業（公共・県単・直轄） 森 信州の森林づくり事業（公共・県単） [再掲] 森 ・防災・減災のための里山整備 新 森 市町村森林整備支援事業 林業公社事業費 松林健全化推進事業
2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	産業の生産性と県民所得の向上を図る	林道事業（公共・県単） 森 信州の森林づくり事業（公共・県単） [再掲] 新 森 ・人工造林・初期保育の嵩上げ [再掲] 高性能林業機械導入推進事業 林業総合センター試験研究普及費 木材産業循環成長対策事業 林業種苗生産拡大対策事業 譲 ・エリートツリー等種子安定供給事業 林業労働力対策事業 ・森林整備担い手育成確保総合対策事業 新 譲 ・信州の森林で働く人材確保推進事業 譲 ・林業労働力緊急確保対策事業 譲 ・林業労働力活用促進対策事業 新 森 多様な林業の担い手確保育成事業 譲 林業大学校運営事業 林業就労条件整備促進事業 譲 林業労働災害防止対策事業 譲 持続的な林業経営の確立支援事業 譲 スマート林業構築普及事業 譲 森林路網DX推進事業 保安林台帳電子化事業 新 国際林業技術交流事業 譲 森林情報基盤整備事業
	人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	譲 ウッドチェンジ普及促進支援事業 森 あたりまえに木のある暮らし推進事業 [再掲] 譲 ウッドもっとなぐ事業
	地域に根差した産業を活性化させる	林業労働力対策事業 [再掲] 新 譲 ・信州の森林で働く人材確保推進事業 [再掲] 譲 林業労働災害防止対策事業 [再掲]
	3 快適でゆとりのある社会生活を創造する	住む人も訪れる人も快適な空間をつくる
4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	働き方改革の推進と就労支援を強化する	多様な林業の担い手確保育成事業 [再掲]
5 誰もが主体的に学ぶことができる社会をつくる	高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する	林業大学校運営事業 [再掲]

新：新規事業

森：森林づくり県民税活用事業（一部活用含む）

譲：森林環境譲与税活用事業（一部活用含む）

令和5年度当初予算 森林づくり県民税活用事業

林務部

事業区分		R5予算額(案) (単位:千円)	目標			備考	担当 部局
事業名	事業概要		基本方針 の目標	5年間 の目標	R5年度 の目標		
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり		241,800					
1	信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)	93,600	再造林面積 (ha)	2,900	260	【新規】 後年に向け予算額、目標値ともに増加していく想定	林務部
2	防災・減災のための里山整備	148,200	間伐面積 (ha)	1,500	400	後年に向け予算額、目標値ともに減少していく想定	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり		129,390					
3	開かれた里山整備事業	34,400	県民が広く親しめる里山整備利用地域の箇所数	50	10	【新規】	林務部
4		21,190					
小計		55,590					
5	あたりまえに木のある暮らし推進事業	38,550	木造・木質化等の箇所数	55	11		林務部
6		1,050					
7		400					
小計		40,000					
8	やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等	5,800	フィールド整備の箇所数	40	8		県民文化部
		(6,230)	学校林整備等の箇所数	30	10	※11の再掲 (森林サービス産業総合対策事業費の内数)	林務部
小計		5,800 (12,030)					
9-1	まちなかの緑・街路樹の整備	6,000	緑地整備の箇所数	10	2	【拡充】	建設部
9-2		12,000	緑地の保全延長(km)	32	6.4	【新規】	
10		10,000	整備延長(km)	20	4		
小計		28,000					

令和5年度当初予算 森林づくり県民税活用事業

林務部

事業区分		R5予算額(案) (単位:千円)	目標			備考	担当 部局
事業名	事業概要		基本方針 の目標	5年間 の目標	R5年度 の目標		
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援		39,593					
11	森林サービス産業総合対策事業	【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数	50	10	【新規】	林務部
12		【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等					
小計		25,854					
13	地球温暖化防止吸収源対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評価認証制度)	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証					
14	信州ネイチャーセンター構築事業	自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	エコツーリズムガイドの育成人数	25	5		環境部
15	多様な林業の担い手確保育成事業	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援	多様な林業に関わる新規就業者数	200	40	【新規】	林務部
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		205,887					
16	市町村森林整備支援事業	【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	整備箇所数	150	50	後年に向け予算額、目標値ともに減少していく想定	林務部
17		【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	観光地の景観整備箇所数	100	20		
18		【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	緩衝帯の整備箇所数	100	20		
19		【森林の病虫害被害対策】 病虫害被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等	被害木処理材積 枯損木利活用材積 (m ³)	5,400 10,000	1,080 2,000		
小計		166,512					
20	河畔林整備事業	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	整備箇所数	70	14		建設部
Ⅴ 普及啓発、評価検証		8,200					
21	みんなで支える森林づくり推進事業	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等					林務部
合計(a)		624,870					

森林税事業総計(a)+(b)	624,870
----------------	---------

【再掲:部局別】

部局名	R5 予算額案 (千円)
林務部	549,795
建設部	67,375
環境部	1,900
県民文化部	5,800
合計	624,870

▶ これまで市町村への定額配分により実施してきた森林づくり推進支援金に替え、ライフライン沿いの危険木の伐採や国庫補助対象外の病虫害被害対策など、地域の課題解決に向けた市町村による森林整備の取組を支援する補助事業を創設

区分	事業内容（補助率）	R5予算額（案）	事業目標（上段:R5、下段:5年間）
ライフライン等の保全対策	ライフライン等保全のための支障木等の伐採（9/10以内）  支障木等の伐採	66,600千円	50箇所 150箇所
観光地の景観整備	観光地の魅力向上に向けた森林整備（9/10以内）  実施前 実施後	24,192千円	20箇所 100箇所
緩衝帯の整備	野生鳥獣による被害防止のための森林整備（9/10以内）  実施前 実施後	15,660千円	20箇所 100箇所
森林の病虫害被害対策	<ul style="list-style-type: none"> 病虫害被害による枯損木の有効活用（9/10以内） 森林外や未被害市町村での被害木処理等（1/2以内）  枯損木の活用 被害木の処理	60,060千円	3,080m ³ 15,400m ³

令和5年度 市町村森林整備支援事業 要望状況

令和4年12月現在

諏訪地域振興局 林務課

(単位：千円)

区 分	市町村	事業費 (補助対象額)	補助金額	
(1) ライフライン等の保全対策	茅野市	1,500	1,350	
	富士見町	6,000	5,400	
	原村	891	802	
	小計	8,391	7,552	
(2) 観光地の景観整備	岡谷市	5,000	4,500	
	諏訪市	5,000	4,500	
	茅野市	2,297	2,067	
	原村	600	540	
	小計	12,897	11,607	
(3) 緩衝帯の整備			0	
(4) 森林の病害虫 被害対策	①枯損木利活用		0	
	②森林外被害木処理		0	
	③未被害市町村被害木処理	岡谷市	4,388	2,194
		茅野市	215	108
		下諏訪町	378	189
		原村	58	
小計	5,039	2,491		
合 計		26,327	21,650	

- 主伐再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える**林業人材の確保・育成を図るため、林業労働力関連予算を倍増**
- これまでの施策に加え、新規就業支援金や小規模事業者の支援など、効果的な施策を講じることで、**全国トップクラスの働きやすい林業県づくりを推進**

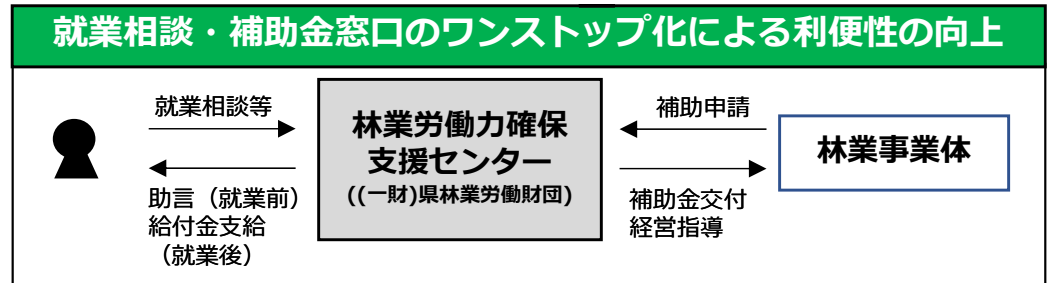
令和5年度重点施策

(A B: 事業の対象者(次ページ))

<p>①新規就業者の確保 <転職・移住者に注目し新たに支援> (A B)</p> <p>新 転職・移住者への支援金給付等 27,596千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業支援金 転職者 10万円/人(70人) 移住者 100万円 or 60万円 (36人) (3大都市圏からはUIターン支援金対応) ・先輩就業者への相談体制の構築 <p>就業希望者等へのセミナー等開催 6,678千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同就職説明会(年2回) ・林業セミナー(年6~7回) 	<p>②保育従事者の確保 <要件緩和や施策拡充> (A B)</p> <p>拡 保育従事者新規雇用支援 16,103千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育従事者の確保のための奨励金 12万円/月(最長3ヶ月分)(50人) ・新規採用者の資格取得費用補助(チェーンソー、刈払い機) 10/10(各20人) <p>拡 保育従事者のマッチング 4,307千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育従事者を雇用する事業者と素材生産事業者の圏域を越えたマッチング 	<p>③多様な担い手の確保 <これまで支援策なし> (B)</p> <p>新 多様な林業の担い手確保支援 11,530千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者への新規就業者に必要な機械や安全装備等に対する準備金 10万円/人(40人) ・安全装備品(1/2)、福利厚生(1/3)の支援 ・兼業、林福連携 受入れ支援 3万円/回 ・中学校の職業体験、イベント開催等認知度向上
<p>④創業チャレンジの応援 (B)</p> <p>新 創業による新規事業展開支援 4,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業に必要な機械等の導入 1/2 ・上記のほか制度資金による設備、運転資金の支援 	<p>⑤定着促進<経営基盤の強化や生産性の向上、就業環境の改善や安全対策の強化> (A)</p> <p>拡 持続的な林業経営支援 7,443千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアモデルの作成(優良モデルの分析や紹介) ・経営力・生産性の向上(スキルアップ講習) <p>拡 安全対策の強化 12,839千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導、安全講習 ・安全装備品 1/2 ・指導者の育成、VRシミュレーター導入 <p>就労条件の整備 14,291千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職金共済掛金補助 1/3 ・特殊健康診断、蜂アレルギー検査等補助1/3 	

全国でもトップクラスの働きやすい林業県を目指して

都道府県数	林業への就業を伴う移住支援 8	全てに対応 長野県のみ R4.11長野県調べ
	林業への転職への支援 1	
	小規模事業者への支援 14	
	新規就業者の雇用に関する奨励金 12	
	保育従事者の確保 10 (長野県を除く都道府県数)	



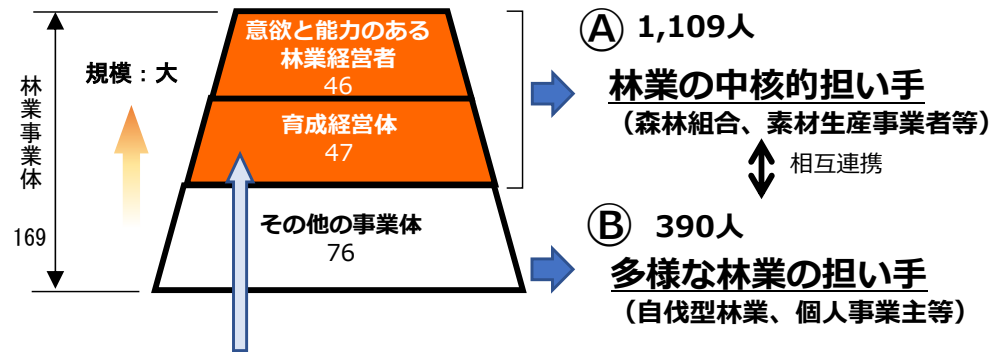
新規就業者目標 120人/年 (5年間で最大100人の増員(就業者1,500人→1,600人)を目指す)

林業人材の確保・育成（就業に係る各段階での支援策等）

- ▶ 林業就業者の確保に向け、裾野の拡大から就職、就業後の定着促進に至るまで、各段階での体系的かつ総合的な支援策を措置
- ▶ これにより、ここ2年増加傾向にある林業就業者について、例年以上となる新規就業者120人/年を確保し、主伐・再造林の推進等に必要な人員を確保

事業者（就業者）の構造

人材の確保・育成 R3 : 1,499人 (R2 : 1,449人、R元:1,446人)



目標： 新規就業者120人/年
(過去5年平均約100人/年)

特徴： 他産業からの転職 (約6割) が多い
県外からの移住 (約3割)

就業意欲の喚起

林家、地域リーダー、他分野事業者等
森林に関心を持つ者
(就業希望者や学生等、移住者を含む)

C 森林の利活用人材
森林・林業の理解者

森林・林業を学びたい者、
起業を考えている者等

D 林業人材の育成
イノベーション

就業後（定着促進）

〔事業者向け〕

A 林業の中核的担い手

- **新規就業者の育成（緑の雇用）**
 - ・就業準備金
 - ・研修費用・指導者130~140万円/人
- **就業環境の整備** 〔拡〕
 - ・退職金共済加入等福利厚生の充実
 - ・安全装備
- **スキルアップ**
 - ・スマート林業、高性能林業機械

B 多様な林業の担い手

- **多様な林業の担い手対策** 〔新〕
 - ・就業準備金
 - ・兼業、林福連携支援
 - ・安全福利厚生対策
 - ・起業・創業支援

共通

- **保育従事者の確保・新規就業者の確保** 〔拡〕
 - ・圏域を越えた労働力のマッチング、新規雇用の奨励、資格取得支援
- **林業労働安全の強化** 〔拡〕
 - ・安全巡回指導、安全装備、指導者の育成等

林業事業者への就職

就業準備・支援

〔個人向け〕

- **転職・移住支援** 〔新〕
 - ・キャリアアチェンジ10万円/人
 - ・移住支援60万円or100万円/人
- **情報の収集**
 - ・林業セミナー（年6~7回）
 - ・林業前研修（20日間）
 - ・現場見学会（年数回）

- **相談体制の構築** 〔新〕
 - ・先輩就業者の相談窓口の設置
- **将来像の提示・定着促進** 〔拡〕
 - ・キャリアモデルの作成
- **就職先とのマッチング**
 - ・共同就職説明会（年2回）
 - ・就業相談

裾野の拡大

- C** ■ **林業の認知度の向上**
 - ・森林環境教育、学校林の活用等
 - ・中学生の職業体験、高校生体験研修
 - ・イベント、森林・林業体験
- C** ■ **地域人材の育成**
 - ・コーディネーター、地域リーダー育成

- D** ■ **木曽谷・伊那谷フォレストバレーの形成**
 - ・林業大学校カリキュラムの見直し
 - ・森林・林業関連機関の連携や人材確保
 - ・森林・林業関連産業の起業支援
 - ・関係機関による協議会設置

- 長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」は県内105地域まで増加
- 新たな森林税活用事業では「里山整備利用地域」の取組を更に進め、多くの人々が「レクリエーション」「健康づくり」「観光拠点」等として利用できる「開かれた里山」を重点的に支援（目標：5年間で50か所）

令和5年度事業概要

①（新）開かれた里山の活用マニュアル作成、情報発信等 事業主体：県

- 里山活利用の留意点や森林整備の手法を整理、「開かれた里山」の情報発信

「開かれた里山」の実践に向けた里山整備利用地域の支援

②（拡）開かれた里山のスタートアップ、同意取得・合意形成の支援 補助率：10/10

- 「開かれた里山の整備・利用計画」の策定や必要な活動経費、所有者の同意取得などを支援（2年間）

③（拡）開かれた里山における里山利活用の促進 補助率：3/4

- 「開かれた里山」の活動に要する資機材等の導入を支援（承認後、上限補助額（75万円まで）上積み）

④（新）開かれた里山の整備 補助率：9/10

- 「開かれた里山の整備・利用計画」に基づく修景林間整備、歩道開設等を支援

これまでの里山整備利用地域の取組の支援（継続）

⑤（継）里山利活用スタートアップ支援 補助率：10/10

- 里山の自立的な利活用に必要な活動経費を支援（認定（初回利用）から3年間）

⑥（継）里山利活用の促進 補助率：3/4

- 自立的な活動に要する資機材等の導入へを支援（上限補助額（112.5万円）まで）

開かれた里山の活用マニュアル作成等

① 2,000千円

開かれた里山の整備・利用事業

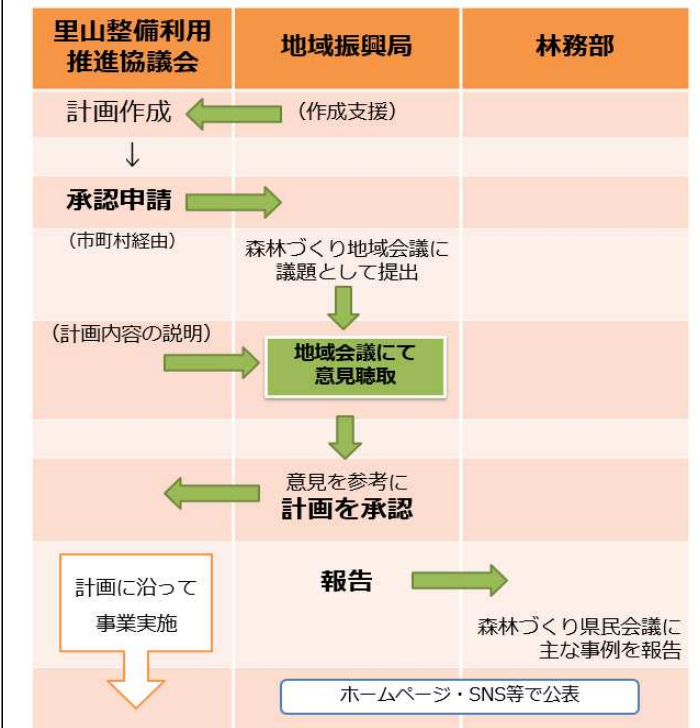
（スタートアップ支援・利活用の促進） 19,190千円

② ③ ⑤ ⑥

開かれた里山の整備（森林整備）

④ 34,400千円

「開かれた里山の整備・利用計画」承認の流れ（案）



開かれた里山の整備支援（仕組みづくりや情報発信について）

本県の強みである「多種多様な里山」を、より多くの人々が身近に親しめる仕組みづくりを進めます

- 「広く親しめる里山」…地域住民の協働により整備・利活用が進む里山などで、県内外の多くの人々が訪れ、レクリエーションや健康づくり、観光拠点などにも活用される身近な森林
- 「ネーミング」…このような森林を包括的にPRするため、県民がわかやすく、親しみをもってもらえる総称を検討するとともに、わかりやすい情報発信を工夫（例：「信州創造の森」「信州癒しの森」「里山ベースナガノ」など）

開かれた里山の仕組みづくり



利活用ルール、整備方針等の整理・マニュアル化・情報発信

開かれた里山の整備事業 50か所/5年間
(県で認定する里山整備利用地域 = 105か所+a地域を対象)

開かれた里山の整備事業

- ・ 整備・利用マニュアル等の作成
- ・ 広く親しめる里山の情報発信
- ・ 開かれた里山の利活用活動支援
- ・ 必要な資機材等の導入支援
- ・ 開かれた里山の森林整備支援

既存の「開かれた里山」（上記以外）の情報発信

市町村等

市町村民の森
長野市茶臼山公園
飯田市野底山森林公園 等

県

県民の森
大平峠県民の森
（飯田市・南木曾町）
美ヶ原県民の森（松本市）
体験学習の森（林業総合センター）等

国

国有林
レクリエーションの森
おすすめ国有林
国立高遠青少年自然の家 等

既存の森林の情報発信

- ・ **先導的な取組の紹介**
県林業総合センター「体験学習の森」の森林教室・体験学習 等
- ・ **フィールド情報の提供**
国有林や市町村民の森の活用（滝超森林スポーツ林・白糸の滝風致探勝林 等）
- ・ **NPO、企業、団体等との協働**
NPO法人やまぼうし自然学校、NPO法人ピッキオ等県内で活躍する団体との協働

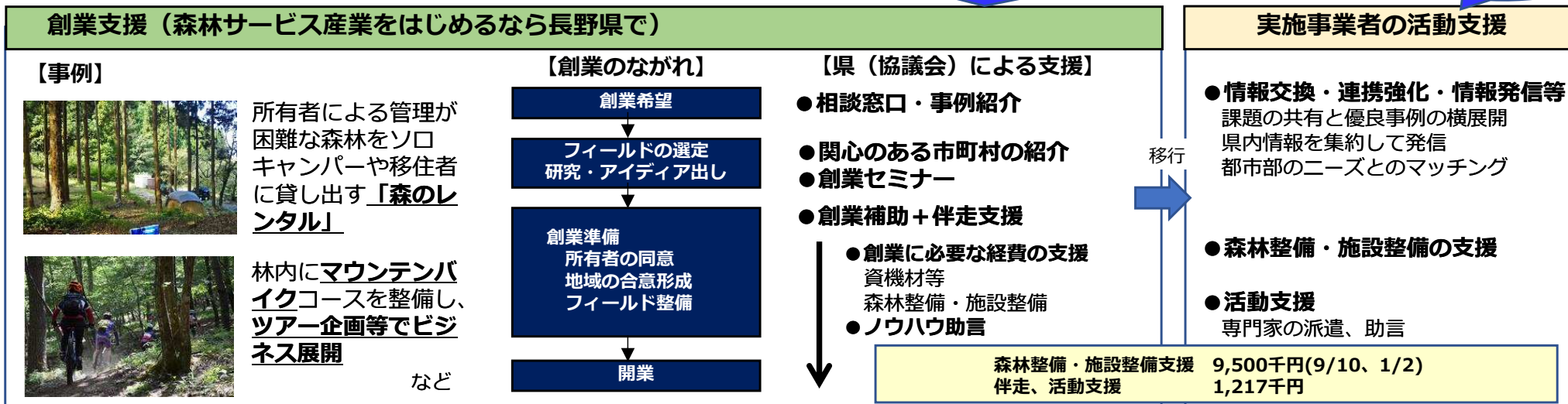
▶ 山村地域における経済循環や関係人口の増加を図るため、様々なアイディアでビジネス展開する**森林ベンチャーの支援**など、森林空間を健康・観光・教育等の多様な分野で活用する「**森林サービス産業**」を振興

【目標5年間で50プロジェクト】

■全国をリードする「森林サービス産業県」を形成

新たな森林ベンチャーの育成

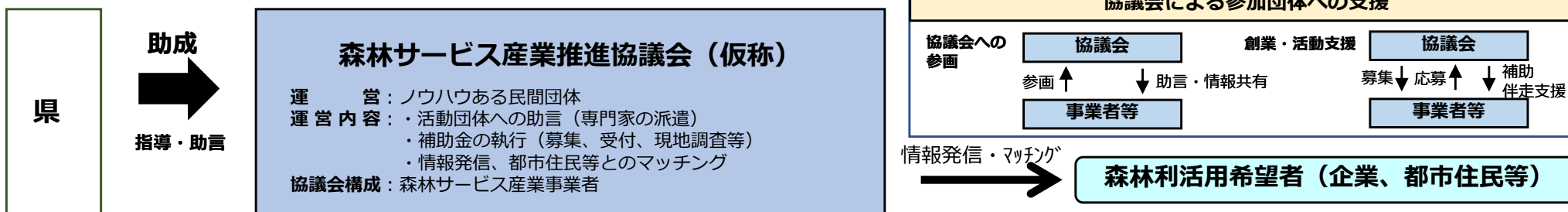
発展



■体制の整備や人材の育成等

地域や利用者のニーズ調査、協議会運営の制度設計など体制構築 1,044千円	森林空間利用のコーディネート人材、里山の利活用をリードする人材の育成 6,738千円	企業との連携による森林整備の推進（森林の里親） 1,125千円	森林を活用した環境教育等（森林整備 9/10、活動経費 10/10） 6,230千円
---	--	---	--

■事業の運営スキーム（R5の制度設計を踏まえて構築）



	R5	R6	R7	R8	R9
R5は県直営で実施 サービス産業総合対策	ニーズ調査・体制構築				
	民間による協議会運営、本格事業実施				

新 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の嵩上げ）

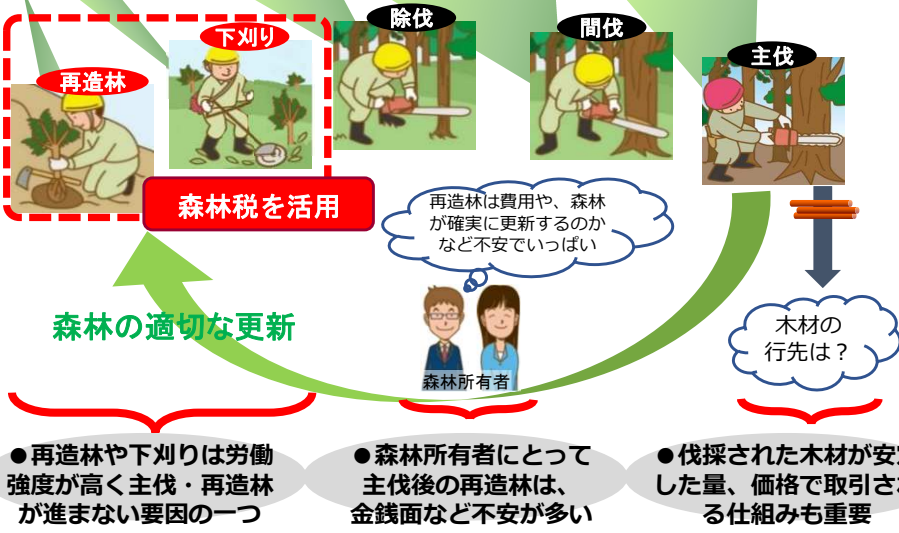
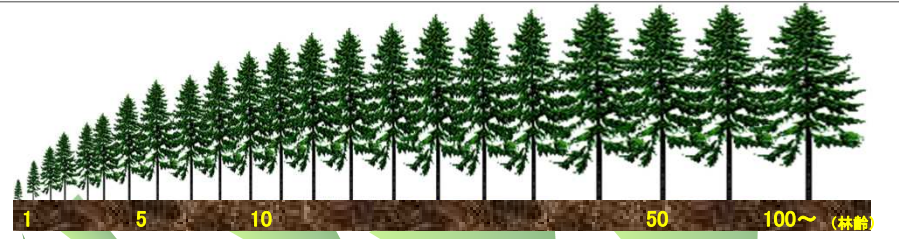
R5当初予算額（案）312,000千円
（内、嵩上げ分 93,600千円）

目的：2050ゼロカーボンの実現に向け、私有林人工林の8割が50年生を超える本県の森林がCO2吸収機能を発揮できるよう、国庫補助事業と森林税を組み合わせて活用することにより、若い森林への更新を加速化

目指す姿：計画的な主伐・再造林により資源の循環利用を行う森林（地形や道路からの距離などの条件から算定した効率的な施業が可能な森林）を約10万haと想定し、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築
→ 当面5年後（R9）の再造林面積を年間1,000haとする（10年後には年間1,250haへ）

- 主伐・再造林推進ガイドライン（案）に基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援。併せて省力化・効率化等の取組を推進
 [推進する取組例：①造林の省力化・効率化の推進 ②森林所有者との森林整備協定の締結 ③地域材の安定供給のための取引協定の締結 ④環境配慮の推進（生物多様性に配慮） ⑤獣害対策の推進（捕獲従事者と連携・協力したシカ捕獲の推進など）等]
- 森林税を活用し、5年間で概ね2,900haの再造林等を支援

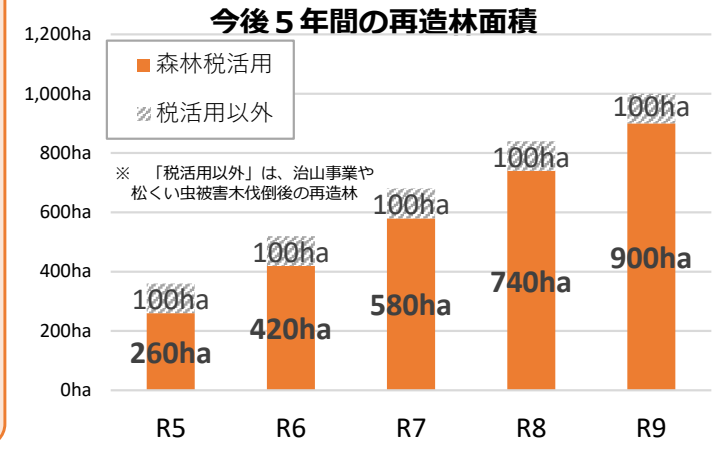
○ 補助率等
 ・補助率：10/10[※]（国庫及び一財 7/10、森林税 3/10） ・森林税：11.3億円（5年間） ※標準的な経費に対する補助率



支援対象のイメージ

① 機械を用いた地ごしらえ作業
 ② 乗車型の機械を用いた下刈り作業
 ③ 長期の森林整備協定
 ④ 木材の安定供給取引協定
 など

- 造林から主伐まで長期間を要する林業において、遅れている再造林を促進するためには、再造林等の初期段階における所有者負担軽減が重要
- 森林税を活用し、造林とその後の初期保育について重点的に支援することにより、森林所有者の負担軽減を図り、造林意欲を喚起



主伐・再造林の加速化（適正な主伐・再造林の促進に向けた主な対応）

○ 各分野の運用における対応について、必要な対策を講じ、適正な主伐と確実な再造林に取り組む。

取組分野	主な対応
「林業経営に適した森林」の明確化	<ul style="list-style-type: none"> 市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定の推進 森林のゾーニング等に関する林業事業者の理解の促進 「林業経営に適した森林」を確認できるオープンデータ化の推進
適正な主伐と確実な再造林等の確保	<ul style="list-style-type: none"> 長野県主伐・再造林推進ガイドライン（案）に基づく適切な施業を推進 森林経営計画制度や伐採造林届制度等に関する林業事業者等の理解の促進
森林管理の集積・集約化	<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者の管理意思を明確にする意向調査の促進 林業事業者による経営管理に向けた集積・集約の促進
森林所有者に対する制度理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 林業事業者や林業普及指導員による森林所有者への理解の促進 団体有林の構成員への理解の促進 主伐・再造林に関心の高い団体有林の資源量調査の実施
優良苗木の確保	<ul style="list-style-type: none"> 苗木生産者の生産技術の向上に向けた取組や苗木の安定的な供給に向けた関係者との調整 コンテナ苗規格の標準化 採種園整備の推進
生産性の向上と作業の省力化	<ul style="list-style-type: none"> 高性能林業機械の効果的な活用 主伐と造林の一貫作業、低密度植栽等による保育作業の省力化の推進 林地残材の有効活用により、造林・保育作業の効率化を推進
効果的な鳥獣被害対策	<ul style="list-style-type: none"> 再造林時の確実な鳥獣被害防止対策の実施 林業事業者と有害鳥獣捕獲者が連携した捕獲の強化 「第二種特定鳥獣管理計画（第5期二ホンジカ管理）」に基づく個体数管理
林業就業者の確保	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県林業労働力確保促進基本計画」に基づく新規就業施策の充実 造林や下刈りなどの保育作業従事者の確保に向けた取組の推進 地域間の労働力の流動化の推進 多様な人材の確保と林業への多様な関わり方の促進
県産材需要拡大など川中、川下対策	<ul style="list-style-type: none"> 川上から川下まで事業者同士のつながりを強化するなど木材の安定供給体制の構築 民間施設・公共施設等における木造木質化や製品開発等による県産材需要の拡大 木材製品の供給力を強化するための木材加工施設等の整備の推進